日本民俗学会 第62回年会宮城

第2回サーキュラー

先般、日本民俗学会第 62 回年会のご案内をさしあげましたところ、約 330 名のご参加申込ならびに約 140 名のご発表申込を頂きました。心よりお礼申し上げます。

さて、このほど年会の詳細が決まりましたので、第 2 回サーキュラーをお届け致します。つきましては、同封いたしましたお申込内容をご確認の上、参加費等のお振込やご発表要旨の提出など、期日までのお手続きを何卒よろしくお願い申し上げます。

日本民俗学会第 62 回年会実行委員会

目　次

ごあいさつ／同封物一覧／日程／会場……1
アクセス／昼食について／宿泊について……2
プログラム……3
参加費等の納入について……4
研究発表要旨の提出について……5
グループ発表要旨の提出について……6
使用機材について／書籍販売について／
　　抜き刷り配布コーナー／今後の予定……7
プレシンポジウム……8

同封物一覧

- 申込内容確認票・研究発表登録票（全参加者）
- 払込書［払込取扱票・振替払込請求書兼受領証］（全参加者）
- 出張依頼状（希望者のみ）
- 研究発表登録票返信用封筒（研究発表申込者のみ）

年 会 日 程　**2010 年 10 月 2 日（土）・3 日（日）**

年 会 会 場　**東北大学川内北キャンパス　（仙台市青葉区川内 41）**

年会実行委員会事務局

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1
東北大学大学院文学研究科宗教学研究室気付
TEL／FAX：022-795-6022　E-mail：fsj62@sal.tohoku.ac.jp
URL：http://www.sal.tohoku.ac.jp/fsj62/

アクセス

JR 仙台駅西口
仙台市バス「仙台駅前」バス停（9 番のりば）より、
【715 宮教大行】、【710 宮教大・青葉台行】、【713 宮教大・成田山行】、
【719 青葉通・理・工学部・仙台城跡南経由 動物公園循環】
に乗車（約 15 分、180 円）
「東北大川内キャンパス・萩ホール前」バス停下車、徒歩 3 分

※ 学内駐車場はご利用できません。お車での来場はご遠慮ください。

昼食について

✻ 年会の開催される川内北キャンパスでは、川内の杜ダイニング、Bee ARENA Café、キッチンテラス Couleur が土曜日のみ営業いたします（11:00～14:30）。

✻ 年会二日目の 10 月 3 日（日）は、キャンパス内の食堂も営業しないほか、キャンパス周辺には食事をできる場所がございません。実行委員会でお弁当（お茶付き 1,000 円）をご用意したいと思いますので、ご予約していただくことを強くお勧めいたします。

宿泊について

✻ 年会実行委員会では、ホテル等の宿泊施設の斡旋は一切行いません。年会へのご参加を予定し、仙台市周辺にご宿泊を予定されるみなさまは、ご宿泊の施設を含むご予定を余裕をもって立てられますよう、お願いいたします。

✻ なお本年会の前日（10 月 1 日）には 「第 5 回人類学関連学会協議会合同シンポジウム」 が宮城県多賀城市にある東北歴史博物館（仙台駅より東北本線にて 14 分、国府多賀城駅下車すぐ）にて開催される予定です（詳細は日本民俗学会のウェブサイトでご確認ください）。年会と併せてご出席の場合には、仙台駅周辺でのご宿泊が便利かと思われます。

プログラム

10 月 2 日（土）

9：30 ～10：00　理事会
（マルチメディア教育研究棟 6F 大ホール）

10：00 ～12：30　評議員会
（マルチメディア教育研究棟 6F 大ホール）

12：00 ～　受付開始
（マルチメディア教育研究棟 1F エントランスホール）

13：00 ～16：30　公開シンポジウム「生老病死にみる民俗の変化」
（マルチメディア教育研究棟 2F マルチメディアホール）

企画趣旨

本年の年会は「変化」を全体に通底するテーマとして採用し、可能なところで「変化」を意識した発表をお願いしてきた。シンポジウムにおいては、「変化」の事例として人生における生老病死の各場面を取り上げ、それぞれの場面におけるこの間の「変化」について、民俗学の周辺研究領域の研究者にお話しいただく。それらの発表に対して民俗学の立場からコメントを付け、フロアからの意見も取り入れるところから、民俗の「変化」をめぐる民俗学的立ち位置を考えることとしたい。

スピーカー：
生：島薗 進　（東京大学教授：宗教学）
老：宮本 みち子　（放送大学教授：家族社会学）
病：波平 恵美子（お茶の水女子大学名誉教授：医療人類学）
死：森 謙二　（茨城キリスト教大学教授：法社会学）

コメンテーター：
新谷 尚紀　（國學院大學教授：民俗学）
小池 淳一　（国立歴史民俗博物館准教授：民俗学）

コーディネーター：
鈴木 岩弓　（東北大学教授：宗教民俗学）

司会：
小谷 竜介　（宮城県教育委員会：文化人類学）

16：30 ～17：50　研究奨励賞授賞式・会員総会
（マルチメディア教育研究棟 2F マルチメディアホール）

18：15 ～20：15　懇親会　（川内の杜ダイニング）

10 月 3 日（日）

9：00 ～　受付開始　（講義棟 C 棟 1F）

9：30 ～12：00　研究発表（午前）　（講義棟 C 棟）

13：00 ～16：30　研究発表（午後）　（講義棟 C 棟）

※ 3 日の開始・終了時刻は、発表プログラムの確定する 8 月下旬に最終決定いたします。決定内容については第 3 回サーキュラーでお知らせいたします。

参加費等の納入について

本年会参加費等は以下の通りです。

- ✻ 大会参加費　　事前振込 4,000 円　（当日 5,000 円）
- ✻ 懇親会参加費　　事前振込 5,000 円　（当日 6,000 円）
- ✻ 3 日昼食弁当代　　事前振込 1,000 円　（お茶付き）

※ お弁当は当日にはご購入いただけません。ご希望の方は、必ず参加費等とともにお振り込みください。

大会参加費・懇親会費・弁当代ともに、納入期限は **2010 年 8 月 6 日（金）**です。期日にて振込口座を閉鎖いたしますので、以降は当日にお支払いください（その場合、1,000 円高くなります）。

上記参加費のほか、2010 年分の会費も、この期日までに納入をお済ませください。会費の納入方法は、参加費等の納入方法とは異なります。詳しくは学会事務局までお問い合わせください。

【学会事務局】E-mail：folklore@pop21.odn.ne.jp / TEL：03-5815-2265

発表をお申し込まれた方の場合、期日までに大会参加費および 2010 年度会費を納入いただかないと、発表は辞退されたものとして扱われますので十分ご注意ください。

参加費等納入方法

同封いたしました「払込書」に必要事項をご記入の上、下記ゆうちょ銀行振替口座にお振り込みください。振込手数料につきましては、恐れ入りますがご負担願います。

【口座番号】　02280-8-108967

【加入者名】　日本民俗学会第 62 回年会実行委員会

記入例：

※ 事前に領収書が必要な方は、年会実行委員会事務局までご連絡ください。

※ 一度納入いただいた参加費等は理由の如何にかかわらず返却いたしません。あしからずご了承ください。

研究発表要旨の提出について

一般発表、グループ発表にお申し込まれた方全員が、「研究発表登録票」と「研究発表要旨」を期日までに年会実行委員会へ提出いただく必要があります。期日までに提出されなかった場合、発表は辞退されたものとして扱われますので十分ご注意ください。

送付期限：2010 年 8 月 6 日（金）必着

「研究発表登録票」は、切り離して「研究発表要旨」に添付してください。内容に誤りや変更がある場合には朱書にて訂正してください。

「研究発表要旨」は以下の執筆要領を参照して作成の上、打ち出し原稿とデジタルデータの両方をご提出ください。打ち出し原稿は、「研究発表登録票」とともに同封の返信用封筒にてお送りください。デジタルデータはメールの添付ファイルにて以下のアドレスまでお送りください。

送付先アドレス	fsj62abst@sal.tohoku.ac.jp
メールタイトル	発表要旨（発表者氏名）
原稿ファイル名	発表者氏名

※ 返信用封筒にフロッピーディスクを同封してお送りいただくこともできますが、できるだけメール添付でのご提出をお願いいたします。

※ 手書きの場合は楷書体で、原稿用紙に 1,400 字以内でご記入ください。事務局でデータ化し体裁を整えさせていただきます。但し、発表者校正はございません。

発表要旨執筆要領

【ファイル形式】Microsoft Word ファイル（doc、docx）あるいは一太郎ファイル（jtd）

【ページ設定】A4 縦長 1 頁、横書き、40 字×40 行、余白（上下左右）25mm

【フォント】和文：MS 明朝、英数字：Century、サイズ：10.5pt

【発表題目】ページ最上部中央に発表題目を 12pt のフォントサイズで記載してください。副題を含め、発表題目は研究発表登録票と一致させてください。発表題目の下中央に 10.5pt のフォントサイズで氏名を記載し、その右側にかっこ書きで所属都道府県名をつけてください。

【要旨本文】要旨本文は発表者氏名より 1 行空けて書き始めてください。図表の挿入は可能ですが、写真の挿入はお控えください。なお、出来上りは白黒印刷になります。

関連事項

✻ 一般発表は発表 20 分･質疑応答 5 分･移動 5 分を 1 ユニットとします。グループ発表については次頁を参照ください。

✻ 発表内容は未発表のものに限ります（口頭発表・印刷物などですでに発表したものと同一内容の発表の禁止）。重複発表が判明した場合は、参加費の納入の如何にかかわらず、発表をお断りすることとなります。

グループ発表要旨の提出について

グループ発表の代表者は、個別の研究発表要旨とは別に、グループ発表全体についての要旨を期日までにご提出ください。

送付期限：2010 年 8 月 6 日（金）必着

代表者を含め、グループ発表にて発表される方は、別途研究発表要旨の提出が必要となります。前頁を参照の上、お忘れなくご提出ください。

「グループ発表要旨」は以下の執筆要領を参照して作成の上、打ち出し原稿とデジタルデータの両方をご提出ください。打ち出し原稿の送付には、同封の返信用封筒をご利用ください。デジタルデータはメールの添付ファイルにて以下のアドレスまでお送りください。

送付先アドレス	fsj62abst@sal.tohoku.ac.jp
メールタイトル	グループ要旨（代表者氏名）
原稿ファイル名	代表者氏名

※ 返信用封筒にフロッピーディスクを同封してお送りいただくこともできますが、できるだけメール添付でのご提出をお願いいたします。

※ 手書きの場合は楷書体で、原稿用紙に 1,300 字以内でご記入ください。事務局でデータ化し体裁を整えさせていただきます。但し、発表者校正はございません。

発表要旨執筆要領

【ファイル形式】Microsoft Word ファイル（doc、docx）あるいは一太郎ファイル（jtd）

【ページ設定】A4 縦長 1 頁、横書き、40 字×40 行、余白（上下左右）25mm

【フォント】和文：MS 明朝、英数字：Century、サイズ：10.5pt

【テーマ】ページ最上部中央にグループのテーマを 12pt のフォントサイズで記載してください。副題を含め、テーマは研究発表登録票と一致させてください。テーマの下中央に 10.5pt のフォントサイズで発表者全員の氏名を記載し、それぞれの右側にかっこ書きで所属都道府県名をつけてください。

【要旨本文】要旨本文は発表者氏名より 1 行空けて書き始めてください。図表の挿入は可能ですが、写真の挿入はお控えください。なお、出来上りは白黒印刷になります。

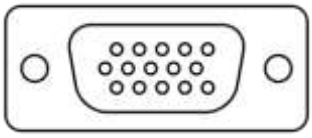
関連事項

✽ グループ発表の時間枠は、一律 90 分となります。枠内の時間配分は、代表者にお任せいたします。

✽ グループには適宜、司会等を設定していただくことができます。司会等の登録は必要ございませんが、プログラムへの記載もいたしません。なお、学会側から座長を配置いたしますが、グループ発表の討論等には関与いたしませんので、ご了承ください。

使用機材について

使用できる機材は、PC 用液晶プロジェクタ（D-sub 15pin 端子使用）・書画カメラ（実物投影機）です。PC 本体は各自でお持ち込みください（LAN の設備はございません）。申込時の使用希望機材に変更がある場合には、研究発表登録票の使用機材欄を訂正してください。



D-sub 15pin 端子

書籍販売について

✽ 会場に書籍販売コーナーを設けます。販売を希望される団体・出版社様は、下記の要領でお申し込みください。委託販売はお受けできませんので、販売・管理は各自でお願いいたします。

✽ 会場の都合で十分なスペースを確保できない場合も予想されます。予めご了承ください。

✽ 販売は 10 月 2 日（土）午後、10 月 3 日（日）に限ります。

【申込期限】2010 年 8 月 6 日（金）

【申込方法】原則として E-mail での受付となります。

送付先：fsj62@sal.tohoku.ac.jp

【申込事項】（1）団体・会社名、（2）ご担当者の氏名、（3）住所、（4）電話番号、（5）FAX 番号、（6）E-mail アドレス、（7）主要なお取扱書籍のタイトル、（8）お持込み箱数、（9）販売日（2 日・3 日・両日）

【搬入搬出】研究大会会場への車両入構に制限があるため、お車による搬入搬出は行えません。宅配便をご利用ください。なお、搬出については、2 日・3 日の終了時刻間際に、宅配業者が会場に出張し、宅配便引受業務を行なう予定です。詳細については、お申し込みいただいた団体・出版社様に追ってご連絡いたします。

抜き刷り配布コーナー

会場に抜き刷り配布コーナーを設ける予定です。配布を希望される方は、ぜひご持参ください。

今後の予定

プレシンポジウム	7 月 11 日（日）
発表要旨提出期限	8 月 6 日（金）
書籍販売申込期限	8 月 6 日（金）
参加費等納入期限	8 月 6 日（金）これ以降は当日料金となります
第 3 回サーキュラー	9 月上旬発送予定

内容…各発表会場プログラム、会場案内、発表案内

※ また、2010 年度会費も 8 月 6 日（金）までに納入ください。

プレシンポジウム （第 850 回 日本民俗学会談話会）

テーマ：民俗学は「変化」をどうとらえるのか
日　程：2010 年 7 月 11 日（日）13：30～17：00
会　場：東北大学片平さくらホール（仙台市青葉区片平 2-1-1）
※ **年会会場とは異なりますので、ご注意ください。**（下図参照）
共　催：東北民俗の会
企画趣旨：本シンポジウムは、他分野の用語や方法論、流行に左右されるのではなく、民俗学の学史をふまえ、その問題意識を整理し、民俗学の本質、独創性を再確認することを、目的とする。パネリストとして、近年、民俗学についての総括的な論考を刊行された 3 名の先生方をお招きする。その著書を手掛かりとしつつ、前向きな観点から民俗学は何を明らかにしたのか、民俗学から何が見えるのか、何がわかるのか、民俗学の学問としての力量と将来性を真正面から問うてみたい。

パネリスト・演題：
福田 アジオ（神奈川大学教授）
「歴史認識の学としての民俗学と変化」
真野 俊和　（前筑波大学教授）
「変化と変異―そして民俗はなぜ分布するのか―」
新谷 尚紀　（國學院大學教授）
「日本民俗学の基本は伝承論であり変遷論である」

コメンテーター：
岩本 通弥　（東京大学教授）　／　川島 秀一　（東北民俗の会）

司　会：
加藤 幸治　（東北民俗の会）　／　佐藤 敏悦　（東北民俗の会）
佐藤 雅也　（東北民俗の会）

参考文献：

福田アジオ　『日本の民俗学―「野」の学問の二〇〇年』　2009 年
真野俊和　『日本民俗学原論―人文学のためのレッスン―』　2009 年
新谷尚紀　『柳田民俗学の継承と発展―その視点と方法―』　2005 年

会場までのアクセス：

仙台駅西口　仙台市バス「仙台駅前」バス停より（約 10 分、180 円）

のりば	行き先	下車停留所
11 番	【700 霊屋橋・動物公園経由　緑ヶ丘三丁目行】 【705 霊屋橋・動物公園・日赤病院経由　八木山南団地行】	「東北大正門前」下車、徒歩 3 分
12 番	【707 霊屋橋・動物公園・西の平経由　長町南駅・長町(営)行】	